

# 甲南大学法科大学院入学試験問題について

## － 2015 年一般入学試験（前期・地方） －

試験科目：刑法

### 1. 出題趣旨

殺意をもって毒入りの酒を贈ったところ、予想外の者がこれを飲んで死亡した場合について、死亡結果に故意が認められるかどうか、また、第三者の行為が介入する場合について、法定的符合説をどのように考えるのか、また具体的符合説の妥当性、故意の個数などが論点となる。

関連判例は、東京高判昭和 30 年 4 月 19 日高刑集 8 卷 4 号 505 頁。

### 2. 採点実感

事案としては、それほど複雑ではないので、基本的事項についての理解が正確であるか否か、また、結論の具体的妥当性のみならず、結論に至る過程が論理的かつ明快に示されているか否かを重視した。

### 3. 学習方法

基本的な理論状況について正確に理解するよう、判例の立場を踏まえた上で、基本的な体系書を素直に読み込むことが大切である。法律学はもちろん暗記がすべてではないが、基本的な概念や用語については正確に覚え、意味を理解するようにならなければならない。